

こぶしの花	学校教育目標 日々のめあてを持ち 心豊かで 主体的に生きる力を持つ子の育成	市川市立国府台小学校 市川市国府台5-25-4 TEL 047-372-4672 FAX 047-372-4673 文責 校長 小西 昭仁
	重点目標 三つの元気 ～頭の元気 体の元気 心の元気～	



3年以上続いたコロナ禍の行動規制が大幅に緩和されたGWでしたが、各ご家庭では、どのような連休を過ごされたでしょうか。連休明け、少し休み疲れの様子が窺える児童もいましたが、大半の児童は元気に登校し、久しぶりに会った友達と談笑する姿が随所で見られました。

さて、先月末に行った「1年生を迎える会」では、2～6年生が校歌の合唱をプレゼントし、計画委員の人たちが中心となった〇×ゲーム（国府台小学校にまつわるクイズ）で全校児童が盛り上がりました。1年生は、国府台小学校の一員になった実感と喜びを味わえたのではないのでしょうか。また、その後の「全校歩き遠足」では、各々ペア学年の上級生と下級生が仲良く手を繋ぎ、里見公園に行きました。公園では、鬼ごっこをしたり、ボールや遊具で遊んだり、上級生が下級生に合わせながら楽しそうに時間を過ごしている光景が微笑ましく見えました。

今月20日（土）には運動会を実施します。今週からは学年・全体練習や係活動なども行われます。上記の様子からも感じられるように、全校児童・学年・学級が一つになって楽しみ、また高学年を中心とした児童主体の活動が随所で見る事ができる、国府台小学校らしい運動会を保護者の皆様にご覧になっていただきたいと思います。

令和5年度市川市立国府台小学校 学校経営方針

1 学校教育目標とめざす児童像

日々のめあてを持ち 心豊かで 主体的に生きる力を持つ子の育成

【めざす児童像】～ 発達段階に応じた目標設定 ～

- ・自分のめあて持ち、自ら行動し、自分の意志で決定ができる児童
- ・自己肯定感を高め、他者を意識できる豊かな心を持った児童

2 重点目標 「三つの元気」～ 頭の元気 体の元気 心の元気 ～

- ・「学ぶ楽しさ」「できる楽しさ」「共に過ごす楽しさ」「教える楽しさ」を育てていく
- ・生涯にわたる成長の観点から、向上心の育成を個人と集団の両面で支援していく
- ・教職員自ら、「個々の指導力と人間力の向上」「チームとしての教育力向上」をめざしていく

3 児童の活動スローガン

全力 ENJOY! 国府台

 ← 児童が主体となって活動する場面での合言葉

「個人でも集団でも、何事も全力で取り組むことが、楽しみや充実感・達成感につながる」

4 年間生活目標

あいさつ いっぱい やさしさ いっぱい

学校生活の中での望ましい行動として、児童に意識（心がけ）させたい目標

5 重視したい教育活動 ～ 上記目標等の達成と教育活動の充実に向けて ～

- (知) 効果的な教科担任制の導入、学期毎の目標設定と振り返り、タブレット・ICTの活用
読書の習慣化、授業での研究テーマの意識化、主体的な家庭学習の推進(定着)
- (徳) 道徳教育の充実、地域学習を通しての郷土愛の育成、意図的な児童決定の場の設定
交流活動の充実、共同学習を通じた多様性を認め合える児童の育成、学年活動の充実
- (体) 健康に係る知識と意識の向上、正課体育での体力向上、特別支援教育の指導力向上
- (信) 学校からの情報発信の充実、児童・保護者・協議会の意見の反映、教育相談の充実

6 働き方改革 ～ 心身共にゆとりを持って、児童と向き合う時間を大切に ～

- ・ワークライフバランスを意識 → ON・OFFの切り替え、ノー残業、年休の取得
- ・教職員の人間力向上 → 自己研鑽、自分の時間を有効に活用
- ・業務の効率化 → 隙間時間の活用(10分間を作り出す)、会議の短縮、ICTの活用

学校生活における新型コロナウイルス感染症に係る対応について

昨日(8日)、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されました。これまでの新型コロナウイルス感染予防対策では、ご理解とご協力ありがとうございました。日常の感染対策(換気、手洗い、咳エチケット等)は引き続き留意してまいります。基本的な取り扱いは以下のとおりとなります。今後は、コロナ以前の日常を取り戻しつつ、Withコロナの時代においてみんなで感染の広がりを防ぎながら学校での学びを止めることなく、実りある教育活動を進めてまいります。

- 今後は、新型コロナウイルス感染症が流行する以前に日常の学校生活において行われていた対応を基本とします。
- 「市川市新たな学校生活スタイルガイドライン」は廃止されます。
- マスクについて
 - ・原則マスクの着用は求めません。また、着脱を強いることはいたしません。
 - ・ただし、熱中症の危険性がある場合は、積極的にマスクを外すよう促します。
- 出欠席の取り扱いについて
 - ・コロナ陽性者の出席停止期間は、症状が出た日を0日目として5日間を経過し、かつ症状軽快後1日間を経過するまでです。また、発症から10日間はマスクの着用を推奨します。
 - ・濃厚接触者の運用はありません。同居家族がコロナ陽性となっても、本人が元気であれば登校は可です。
 - ・発熱や咽頭痛、咳などの普段と異なる症状がある場合は、自宅で休養することを推奨しますが、軽微な症状があることをもって登校を一律に制限し、出席停止扱いにはしません。
 - ・コロナ感染の不安(例えば、同居家族に高齢者や基礎疾患がある方がいるなど)を理由に学校を休んでも、欠席にはしません(出席停止扱い)。その場合は、ご相談ください。

※地域や学校において感染が流行している場合などは、必要に応じて感染拡大防止対策を講じながら、教育活動を進めてまいります。ご理解・ご協力をお願いします。